

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	文化財管理費				
担 当 課 係 名	文化財 課		文化財 係	作成者	佐藤人志
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち			総合計画の ページ
	基本計画	芸術文化活動の振興と文化財の保護			
	主要施策	文化財の保護と後継者の育成			100
予 算 費 目	一般 会計	10 款 教育費	5 項 社会教育費	4 目 文化財保護費	
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規 / 継続の区分		継続
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等	文化財保護法				
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	市民、国民のため、文化財を
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	「市指定文化財の保護、保存」、「武家屋敷の保護、保存」、「埋蔵文化財の調査」、「特別天然記念物二ホンカモシカの保護」等、文化財全般に係る保護、保存、整備を行う。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	文化財保護整備、カモシカ処理、武家屋敷整備・雪降ろし等作業（作業員）を実施する。武家屋敷等設置の防災設備の保守点検業務委託を実施する。施設、設備の修繕または工事を実施する。

【事務事業の推移】

（単位：千円）

	項 目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	指定文化財数	件	184	184	
	成果指標	修理、修繕、整備等件数	件	17	14	
		カモシカ処理	件	6	10	
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)			4,873	5,666	
	財源内訳	国 庫 支 出 金				
		県 支 出 金				
		地 方 債				
		そ の 他				
		一 般 財 源		4,873	5,666	
	人 件 費 (B)		—	3,927	4,036	
		職 員 数	—	0.5	0.5	
		職 員 平 均 人 件 費	—	7,853	8,071	
	(A) + (B) 投下コスト		—	8,800	9,702	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	47,826	52,728	
	市民1人当たりのコスト(円)		—	276	309	

【事務事業の今までの成果】

文化財全般の保護、保存が図られている。特に経年劣化、腐朽の進む武家屋敷の環境を整備し、毎年の公開・活用に寄与している。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	関連の他事業（重伝建、重文等）は補助事業で実施しているが、本事業は単独の事業である。
事業に対する市民の意見（事業に対する期待、要望、苦情等）	毎年、整備された施設（武家屋敷等）により、市民及び多くの観光客に公開と活用を提供している。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
A	A	現状のまま継続（実施）	毎年、同じ状態に保たれていること。すなわち、たゆまぬ保存整備を実施しているからであり、継続していかなければならない。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	仙北市には国、県、市指定文化財の１８３件の貴重な文化財があり、その保護活動は引き続き重要な事業と考える。

一次評価診断図

